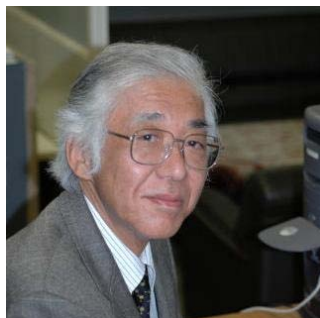


第5回四大学連合文化講演会

環境・社会・人間における「安全・安心」を探るー安全で安心の出来る社会ー
～学術研究の最前線をやさしく解説する～

[トップへ戻る](#)

講演者プロフィール



有富 正憲（ありとみ まさのり） 東京工業大学原子炉工学研究所長

1947年生まれ。1977年東京工業大学大学院理工学研究科原子核工学専攻博士課程修了。東京工業大学原子炉工学研究所の助手、助教授を経て1997年に教授、2007年より同研究所長。専門は、原子力熱流体工学、原子力安全工学、気液二相流動力学、核燃料輸送工学、使用済燃料管理工学等。将来型軽水炉の開発基礎研究を実施、並びに、核燃料物質の安全輸送と使用済燃料中間貯蔵技術の学会標準策定、更に、原子力基盤研究の成果に基づく環境関連技術開発に従事。日本混相流学会長、日本原子力学会理事、日本機械学会評議員、日本伝熱学会監事。

URL: <http://www.nr.titech.ac.jp/~maritomi/>



浅子 和美（あさこ かずみ） 一橋大学経済研究所 教授

1951年生まれ。東京大学経済学部卒業後Yale大学大学院経済学研究科卒業（Ph.D. in Economics）。筑波大学社会工学系講師、横浜国立大学経済学部助教授、同教授を経て、1995年より一橋大学経済研究所教授(システム解析研究部門)。この間、日本銀行金融研究所、大蔵省財政金融研究所、経済企画庁経済研究所、海外経済協力基金開発援助研究所、日本政策投資銀行設備投資研究所で客員研究員を務める。他に世田谷市民大学運営委員、中国廈門大学兼職教授、東北師範大学客座教授。専門はマクロ経済学理論、日本経済の実証分析。

URL: <http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/faculty/asako.html>

栗原 浩英（くりはら ひろひで） 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所長



1957年生まれ。1987年東京大学大学院総合文化研究科（国際関係論）博士課程中退。博士（学術）。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助手、助教授を経て、2004年より教授、2009年より所長。専攻はベトナム現代史。最近は、主として1950年代以降のベトナムと中国・ソ連（ロシア）の関係について、文献資料調査とフィールドワークに基づいた研究を行っている。ベトナムの経験を通じて、日本が中国といかに向き合うべきか探究している。

URL: <http://www.aa.tufs.ac.jp/~hkuri/camp/>



岡澤 均（おかざわ ひとし） 東京医科歯科大学難治疾患研究所神経病理学分野 教授

1959年生まれ。東京大学医学部卒業。医学博士。東京大学助手、東京都神経科学総合研究所部門長を経て、2003年より現職。専門は、神経内科学・脳科学。日本神経学会専門医・指導医。ES細胞の最重要制御因子でありiPS細胞作成の必須因子であるOct-3/4の発見者である。東京大学神経内科において脳疾患研究を始め、精神発達遅滞・小頭症の新たな原因遺伝子PQBP1を発見した。また、神経変性の新しい分子メカニズムを解明した。科学技術振興機構さきがけ、CRESTの研究者、新学術領域研究『シナプス・サーキットパソロジーの創成』の領域代表者、日本神経学会、日本神経科学学会、日本神経化学会、日本ケミカルバイオロジー学会などの役員、科学研究費専門委員、国際総合学術誌PLoS ONEのエディターも務める。

URL: <http://www.tmd.ac.jp/mri/npat/index.html>